



ネイチャーセンターだより

2024年3・4月号

新・いきもの図鑑



▲全身に金色のラメ状斑紋がある亜成体

エゾアカガエルの池の中で見つけた
エゾサンショウウオの卵

【参考文献】

徳田龍弘. 2015. 改訂版北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑. 北海道新聞社.
道前他. 2007. エゾサンショウウオの適応的な表現型可塑性—「頭でっかち型」.
日本生態学会誌 57. 33-39
Michimae H, Wakahara M. 2002. A tadpole- induced polyphenism in the
salamander *Hynobius retardatus*. Evolution 56:2029-2038

エゾサンショウウオ (蝦夷山椒魚)

北海道固有のサンショウウオ。繁殖期の春には東梅自然学習林（小鳥の小道）のエゾアカガエルの池で成体や卵を見ることができます。卵は水中の木の枝や落ち葉などに産みつけられ、数日経つと水を吸った卵嚢は直径3cmほどの太さになるので、よく観察すればエゾアカガエルの卵と見分けがつかず。

幼生（オタマジャクシ）は水生昆虫やプランクトン、エゾアカガエルの幼生を食べ、共食いをすることも知られています。エゾサンショウウオが高密度に生息する環境では「頭でっかち型」といわれる顎が大きく変化した幼生が現れ、共食いに有利な姿と考えられていました。しかし、エゾアカガエルなどの異種の幼生がいる方が頭でっかち型は増え、共食いに限らずより大きな餌を食べるのに有利な姿であることがわかっています。この型は成長が早く、変態期間が短くなる一方で、成体の体サイズは通常より小さくなってしまいうそうです。

NEWS

ながくつ かしたし 長靴の無料貸出あります

あまり知られていないのですが、春国岱ネイチャーセンターではながくつ かしたし 長靴の無料貸出をしています。2月中旬に館内入り口近くにながくつ かしたし 長靴の靴箱を導入し、よりお客様にわかりやすくなりました。

春先は特に、東梅自然学習林内（小鳥の小道）はぬかるみやすくなります。春国岱キタキツネコースは、ヒバリコース迂回路からの入口部分は潮位によっては水たまりができ、アカエゾマツコースと分岐した先の木道のないコースもぬかるみがあります。

春国岱・東梅自然学習林を満喫するには、足元を万全にするのがおすすめです。貸出長靴はサイズや数に限りがありますが、ご希望の方はスタッフへお声がけください。



入口自動ドア近くに設置した長靴箱▲
ここに出ていない在庫もあります。貸出希望の方はスタッフへお声がけいただき、用紙に必要事項をご記入いただけます。

見どころMAP

※東梅自然学習林（小鳥の小道）はぬかるみが多い時期です。長靴での散策をおすすめいたします。春国岱キタキツネコース（木道以外）もぬかるみがある場合がございます。



駐車場から木橋までのヒバリコース木道は、破損が著しく安全が確保できないため通行止めです。海側にある迂回路（作業路）をご利用ください。迂回路から、ハマナスコース、キタキツネコース、アカエゾマツコースをご利用いただけます。

オジロワシやオオワシは、樹上、上空、消波ブロックの上などに見られることがあります。森からはヒガラのさえずりが聞こえ始めます。

キツツキ類、カラ類、シマエナガなどが見られます。4月以降はウグイスやアオジ、ミソサザイなどのさえずりが聞こえるようになります。

- 観察路（ヒバリコース1.2km、約25分）
- 観察路（ハマナスコース1.4km、約30分）
- 観察路（キタキツネコース0.8km、約20分）
- 観察路（アカエゾマツコース0.4km、約10分）
- 観察路（小鳥の小道1.4km、約30分）
- 作業路（春国岱上は車両進入禁止）
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）
- ★ 東梅野鳥観察舎（東梅ハイド）

3・4月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる（と思う）
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よーく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	3月	○	オオワシは3月になると北へ渡り始めるため、徐々に少なくなっていくます。オジロワシも渡っていきますが、少数は風蓮湖周辺で繁殖の準備に入ります。
	4月	○	
タンチョウ	3月	○	ネイチャーセンター観察窓前でも姿が見られるようになります。3月上旬になると、おとなのタンチョウは春国岱で繁殖の準備に入ります。4月は、交尾・産卵の時期でデリケートなため、観察の際は十分な距離をとってください。
	4月	○	
オオハクチョウ	3月	◎	3月になると本州北部などの越冬地から渡ってくるため、数が多くなります。アマモを食べて十分に栄養を蓄えてから、4月中旬までに繁殖地のカムチャツカ半島などに渡ります。
	4月	○	
カモ類	3月	○	3月には南から多くのカモが渡ってきます。ヒドリガモやオナガガモが多く、ハシビロガモ・コガモなどが混ざります。秋には地味だった雄も、鮮やかな繁殖羽に変わっており、識別しやすい姿です。
	4月	◎	
ミヤコドリ	4月	○	昨年の初認日は、4月8日。例年、4月下旬が渡来数のピークとなり、近年は50羽以上が風蓮湖や根室湾の干潟で見られます。観察できるのは干潮時間帯です。
春国岱	森		3月にはミソサザイ、4月にはルリビタキやアオジのさえずりが聞こえるようになります。運が良いとクマガエラの鳴き声やドラミングも聞こえるかもしれません。4月中旬～下旬にアカエゾマツコースでミズバショウが見られます。
	草原		ハクセキレイやカワラヒワがよく見られます。4月になるとヒバリのさえずりが聞かれ、夏鳥のノビタキ、旅鳥のタヒバリなどに出会えます。
自然学習林	野鳥		ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類（アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ）が見られます。4月にはミソサザイ、ウグイス、アオジなどのさえずりが聞こえるようになります。
	花		キタミフクジュソウ（昨年3月17日開花）、ザゼンソウ（昨年4月8日開花）、エゾエンゴサク（昨年4月8日開花）・キバナノアマナ（昨年4月24日開花）。ミズバショウは昨年4月中旬～下旬が花盛りで、5月頭には見頃のピークを過ぎていました。

ヤマゲラが観察されました

ネイチャーセンター横の東梅自然学習林（小鳥の小道）では、この冬たくさんのキツツキの仲間を観察することができました。

なかでも、ほとんど記録のないヤマゲラが、頻度は少なかつたものの10月4日から2月にかけて毎月観察されました。レンジャーが観察したのは雌の個体ばかりでしたが、来園された方の中には頭の赤い模様がはっきりとわかる雄を写真に収めた方もいらっしゃいました。



▲東梅自然学習林で観察したヤマゲラのメス

ヤマゲラは根室では稀に見られる留鳥（一年中その地域で見られる鳥）で、1990年代ごろまでは春国岱でも観察され、2000年代前半にはネイチャーセンター周辺での観察記録もありました。近年では2019年11月から2020年1月にかけてレンジャーや来園者によって自然学習林で雄と雌が確認され、その後3・4月には春国岱の第三浜堤の林内から声が聞かれています。秋から冬にかけての観察状況がちょうど今シーズンに似ており、今後、春国岱などで鳴き声が聞かれるのか楽しみでもあります。

やや甲高い声で「キョッキョッキョッキョツ…」と尻すぼみながら連続して鳴くのが特徴です。ネイチャーセンターでは鳴き声タッチペンでその声を聞くことができるので、散策へ出かける前に確認をしてみましょう。また、木を突く音が森の中から聞こえれば、キツツキの仲間の可能性があります。ぜひ、声や音を頼りに探してみてください。

春国岱クイズ

春早いうちに美しい花を咲かせるミズバショウ。東梅自然学習林では毎年4月下旬に見ごろを迎えます。みずみずしいミズバショウの葉は美味しそうにも見えますが、じつは毒を持っているので食べることはできません。ところがある動物は、とある理由で有毒のミズバショウを食べます。どの動物が、どんな理由で食べるのでしょうか？



▲右上) ミズバショウの花
左下) 花が終わったあとの大きな葉

- ①エゾシカ：まだ食べものの少ない春先には、毒があろうとなんだって食べるよ。
木の皮だって食べることができるのだから。
- ②冬眠から目覚めたヒグマ：冬眠中のおなかたまってものを全部出さないと食欲が出ない。うんちを出すために下剤として食べるよ。
- ③アマガエル：葉っぱの上にいるのを見たことがある人もいるかも。
たまに葉っぱをかじって、毒を体内にためこんでいるよ。

答えはウラのページ

4・5月のイベント情報

◆4/20（土）～5/6（月・祝） 第29回タンチョウイラスト展

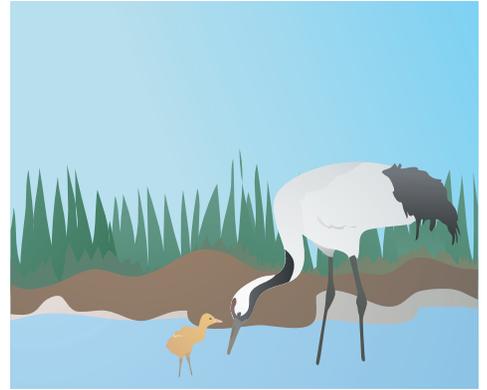
公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ主催で、タンチョウが生息する地域の小中学生に、タンチョウへの興味・関心を深めてもらうためイラストを募集しました。子供たちの素敵な作品を通して、ぜひタンチョウの魅力に触れてみてください。

◇開催期間：4月20日（土）～5月6日（月） 9：00～17：00（開館中いつでも）

※毎週水曜日、4月30日は休館日

◇場 所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター2階

◇主 催：公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ



募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。

クイズのこたえ 答 ②。ただし、小グマには毒。エゾシカは木の皮は食べても毒のある植物は食べません。アマガエルの食べものは虫で、植物は食べません。【参考文献】更科源蔵・更科光。2020。コタン生物記！樹木・雑草篇 新版。青土社。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00～16：30（4月からは17：00閉館）

◆休館日：3月6・13・21・22・27日

4月3・10・17・24・30日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録